

■社会貢献・連携事業／地域連携

●日本赤十字社と「防災教育・啓発パートナー協定」を締結

全国初の取り組みで、地域防災力の向上を図る



調印式(左:佐藤茂雄日本赤十字社大阪府支部長 右:楠見晴重学長)

7月24日、関西大学と日本赤十字社大阪府支部(日赤大阪)の相互連携による「防災教育・啓発パートナー協定」の調印式が、千里山キャンパスで行われた。協定の目的は、防災分野における教育研究活動の一層の充実を図るとともに、教育研究協力を推進し、その成果の普及促進による防災対策及び防災啓発に寄与すること。大学と日本赤十字社との防災分野での協定締結は全国初の取り組みであり、注目を集めている。

関西大学では、2010年に高槻ミュージックキャンパスに日本初の社会安全学部を開設し、防災・減災対策や事故防止、危機管理等に関する研究を推進するとともに、高度な専門知識と実践的なスキルを備えた人材の養成に努めてきた。また、2008年からは各キャンパスにおいて、1万人以上の学生・教職員が参加する大規模地震避難訓練「関大防災Day」を実施。2013年には日赤大阪の協力を得て、防災講演会や応急処置講習等も開催した。

今回の協定締結により、日赤大阪の豊富な救護現場での経験と、本学で培われた防災分野の知見が融合され、防災教育・防災啓発に生かされることにより、地域防災力の向上につながることを期待される。



「関大防災 Day2013」での日赤大阪による防災講演会

●「国家戦略特区」養父市と連携協定を締結

農業再生、地域再生への密着した協力体制を目指して

関西大学と、「国家戦略特区」(農業特区)に指定された兵庫県養父市は、産業振興、人材育成、教育・文化の振興、地域づくり、福祉の増進等の分野で相互協力し、活力ある地域づくりと大学の活性化に寄与することを目的に、包括的な連携協定を締結。8月4日に養父市役所において、楠見晴重学長と広瀬栄市長が出席し、調印式を行った。



▲現地の農産物売場を視察する楠見学長

連携事業として、本学がこれまでに積み上げてきた地元企業との連携実績から、養父市の耕作放棄地の再利用のための機能性農産物の選定や栽培技術協力、高品質・高付加価値の農産物生産のための高機能性天然肥料の

関西大学と養父市との連携協力に関する協定調印式



調印式(左:楠見晴重学長 右:広瀬栄養父市長)

開発といった技術分野に加え、養父市内の企業との連携ビジネスや地元の農業高等学校との連携事業による人材育成なども検討。農業再生や農業製品の開発、地域交流事業を主として、理工系の研究を中心とした事業からスタートし、将来的には人文社会学系の研究者も交えた包括的な協力体制が可能になることを期待している。

高槻キャンパス祭2014 学生と地域住民が多彩な催しで交流

総合情報学部祭典実行委員会が企画・運営する高槻キャンパス祭2014が、5月25日に開催された。20回目を迎えた今年のテーマは「百花繚RUN!」。学生によるバラエティ豊かな模擬店や研究活動発表、地域住民も参加したフリーマーケット、演劇、漫才、軽音ライブなどのステージ企画、応援団による演舞など、さまざまな催しが行われた。また、総合情報学部ならではの視聴者参加型スタジオイベント「プリンセスタツキ〜高月家二代目爺や主権〜」や、喜多千草教授による講演「『ネット依存』を考える」など、本学学生同士だけでなく地域住民との交流の場として、高槻キャンパスは終日大いにぎわった。



今年も関西大学3キャンパスで 市民参加型のキャンパス祭を開催



第4回堺キャンパス祭 新しい企画が続々登場

堺キャンパスでは6月8日、「Departure」をテーマに、人間健康学部祭典実行委員会を中心となって、第4回堺キャンパス祭を開催した。堺キャンパスの課外活動団体によるステージ企画や、子供向けスポーツふれあい広場、模擬店のほか、人間健康学部教員による講義やヨガ教室、体験学習エリア体験など、その内容は盛りだくさん。更に今年は、てづくりおもちゃ教室や体力測定、地震対策案内など、多くの新企画も登場した。約2000人の来場者があり、地域とのつながりや支え合いを学部教育に生かす人間健康学部らしい一日となった。

第3回安全フェスティバル 楽しみながら学ぶ体験型企画が満載

高槻ミュージックキャンパスでは6月15日、社会安全学部祭典実行委員会の企画・運営のもと、第3回安全フェスティバルが開催された。「繋がりは安全を創る」をテーマに、学生による研究活動の発表や、自衛隊や警察を招いての企画、防災の知識を盛り込んだ脱出ゲームなど、社会安全学部ならではの安全・安心なまちづくりに役立つイベントが多数開催された。中でも、多くの子供たちが参加し好評だったのが、今年初の試みである「カエルキャラバン」。震災時に必要な技や知識を楽しく学びながら、おもちゃの交換を行った。また、理工実験室では実際に研究で用いる実験装置を使った体験型模擬実験も行われ、大人も子供も一緒になって大いに盛り上がった。

